

# 「高齡食道癌患者に対する術前治療の検討」 について

加古川中央市民病院消化器外科では、入院及び外通院患者さんのうち食道癌の患者さんを対象に、下記の臨床研究をおこなっております。

尚、この研究についてご質問がございましたら、最後に記しております【問い合わせ窓口】まで連絡ください。

## 【概要及び利用目的】

2011年1月から2021年12月の間に、食道癌の手術を受けられた75歳以上の患者さんを対象として、診療記録（カルテ）より、手術前の化学療法や放射線療法を実施した場合としていない場合の入院期間や合併症発生率、一般身体所見、問診内容、既往歴、血液生化学検査項目の何に差があったのかを調査しております。

## 【研究期間】

研究期間：病院長許可日～2023年2月28日

## 【取得する情報の項目】

身長、体重、BMI、既往歴：糖尿病・心疾患・肺疾患の有無、  
体重減少の程度、血液データ（Alb、Hb、BUN、Cre、eGRF）  
術後入院期間、合併症など

## 【個人情報保護の方法】

すべての患者さんの情報は匿名化され、第3者にはその情報が誰のものかわからないように対応表を作成して研究をすすめます。研究成果を報告する時も個人が識別されないように行います。この研究に参加していただいた患者さんの個人情報については、本研究に関わる全ての研究者が守秘義務を順守するように徹底いたします。個人情報を外部機関へ提供することはありません。患者さんの個人情報は研究責任者が責任をもって保管します。

## 【データおよび試料提供による利益・不利益】

利益・・・本研究にデータをご提供いただく事で生じる個人の利益は特にありませんが、本研究結果が今後の治療の向上に有用となる可能性があります。  
不利益・・・カルテからのデータ収集のみであるため、不利益は特にありません。

## 【登録終了後のデータおよび試薬の取り扱いについて】

この研究で取得したデータ等は、研究期間中は加古川中央市民病院消化器外科において厳重に保管します。ご提供いただいた情報が、今後の医学の発展に伴って、他の病気の診断や治療に新たな重要な情報をもたらす可能性がある時には、その研究に使用されることがあります。そのため、研究終了後も引き続き加古川中央市民病院消化器外科で厳重に保管します。

なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、改めて研究倫理審査委員会の承認を得た後、情報公開文書を作成し当院のホームページに掲載します。

ただし、患者さんが本研究に関する患者さんの試料・情報などのデータ使用の取りやめを申し出られた際は、申し出を受けた時点で本研究に関わるデータは復元不可能な状態で破棄します。

**【研究成果の公表について】**

本研究の成果は参加される患者さんの個人情報明らかにならないように匿名化が厳守された上で学会発表や学術雑誌等で公に発表することがあります。

**【研究へのデータ使用の取りやめについて】**

研究への参加の取りやめを申し出られることはいつでも可能です。取りやめを申し出られても、その後の診療において不利益を受けることはありません。しかし、研究への参加の取りやめを申し出られた時点で、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合は、結果を廃棄できないことをご了承願います。

**【問い合わせ窓口】**

この研究の問い合わせだけでなく、患者さんのデータが本研究に用いられているかどうかをお知りになりたい時や、その使用を望まれない時など、この研究に関することは、どうぞ下記の窓口までお問い合わせください。

加古川中央市民病院 消化器外科  
研究責任者名：西村 透  
連絡先：079-451-5500